

ボート全国大会 網走開催

惜しくも

南高ボート部

準々決勝敗退

8月27日から31日にかけてインターハイ・ボート部門が網走湖で開催された。網走で本大会が行われたのは36年ぶりである。当日は天候に恵まれ非常に暑い5日間となった。報道局は大会の全容、南高ボート部の奮闘、補助生徒の様子取材した。



▲上：南高女子舵手つきクオドルプル 左下：左から林和弘さん、尾田葉月さん
右下：選手宣誓の様子



発行所
網走南ヶ丘高校
報道局
発行責任者
歌丸昊成

競技初日の29日、会場である網走湖ボート場を訪れると最初に色とりどりのオールが並べられていた。湖岸沿いの通路に選手とその活躍を見に来た人たちが大勢歩いていた。また、この大会の規模の大きさをから屋台もいくつが出店されるなどの賑わいもみられた。また一般の方に話を聞

いてみると、島根県からはるばる訪れ、孫が出艇するのを見に来たとのこと。勝てるように精一杯応援したいと熱心に語ってくれた。日が進むにつれ会場に集まるのは勝ち残った学校の関係者のみとなり、賑わいは大きいとはいえない。最終日に行われた表彰式では各部門の1位から6

大盛況の網走湖畔

開会式後、マスコミのインタビューに応じた大崎拓海さんは事故なく終わって欲しい、個人的な意見になつてしまいが網走の人になつてほしいと笑いながら語った。また佐藤も花さんは決勝進出を目指し、昨年よりも良い結果を出したいと話した。そして迎えた競技1日目には予選が行われた。南高ボート部は男子ダブルスカル、女子舵手つきクオドルプルに出場した。予選

では上位3位までが準々決勝に進出できるが、男子ダブルスカルは惜しくも4位となり敗者復活戦への進出が決定した。女子舵手つきクオドルプルは3位でゴールし準々決勝に進出した。レース後の林和弘さんと尾田葉月さんへのインタビューでは、全

記録 影から支えた人たち

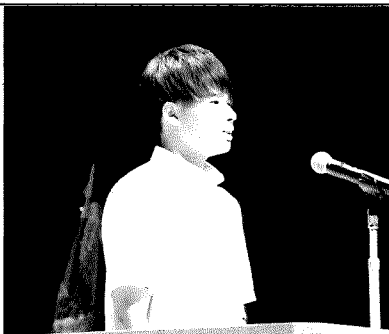
本校ではボート全国大会の開催に伴って、多くの南高生が補助生徒として運営をサポートした。補助生徒の主な仕事内容は受付、案内、ADチェック、司会、放送、弁当引換、表彰式補助で、いたる所でサポートをしている南高生が見られた。

開会式当日に受付をしていた南高生は「責任重大だから緊張する」と感想を述べた。また大会当日に弁当引換所で弁当を配っていた南高生は、取りに来る選手の人数が多いと大変、立て続けにきたら忙しいなど苦労している一面も見受けられた。

▼受付をしている美術部



～ 南高補助生徒の5日間 ～



▲挨拶をする大崎拓海さん

位までが表彰され、選手たちの晴れやかな笑顔を最後に大会は終了した。

大会結果

- 男子シングルスカル 優勝 大津高校(滋賀)
- 女子シングルスカル 優勝 館林女子高校(群馬)
- 男子ダブルスカル 優勝 若狭東高校(福井)
- 女子ダブルスカル 優勝 宇和島東高校(愛媛)
- 男子舵手つきクオドルプル 優勝 関西高校(岡山)
- 女子舵手つきクオドルプル 優勝 美方高校(福井)

祝 演劇部 かこしま総文 優秀賞

夏季休業中に開催された大会で、優秀賞を受賞。報道局が取材した演劇部の新聞第562号は南高HPに掲載中。